

授業科目名	福祉文化論	単位数	2
担当教員名	山口 道宏	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ (1) 「福祉とは文化である」の根拠について実例を挙げて説明できる。 (2) ひとのライフスタイルとノーマライゼーションの関係について事例から理解する。 (3) 福祉文化を育む要件と社会システムについて関心を高める。</p>			
<p>授業の概要 ひとの営みとは単に「食べて、寝る」だけではありません。ここでは、ひとのライフスタイルの実相を、現代社会と福祉文化の視点から具体的に検証する。 当事者の眼で「個別性」「主体性」「継続性」をどう確かなものにするか、その可能性につき方法、内容、効果から考える。それは「福祉の文化化」「文化の福祉化」からみたらどうなのか!? 「くらし」と文化のあらゆる断面を、福祉の視座に立ち、量と質、ハードとソフトにおいてどうか。また地域と個人の関係性、倫理と人権からの検討も加える。</p>			
<p>授業計画 第1回：序 ひとと「くらし」と文化 第2回：スポーツ、レクリエーション、アクティビリティ 第3回：芸術、宗教 第4回：教育 第5回：メディア、情報 第6回：企業活動、NGO 第7回：テクノロジー 第8回：居住環境、町づくり、地域文化 第9回：法律、経済、社会システム 第10回：介護、医療、福祉 第11回：「終末期」 第12回：自立と孤立と社会的包摂 第13回：福祉と消費 第14回：福祉文化と現代社会と人権 第15回：ライフスタイルとノーマライゼーション 定期試験</p>			
<p>スクーリングでの学修内容 第1回から第15回のすべてを行う。</p>			
<p>テキスト なし</p>			

参考書・参考資料等

星槎大学附属研究センター研究集録 VOL8 P58-85 「福祉文化の創造」山口ほか
学生ポータルサイトより閲覧・ダウンロード可

- (1) 一番ヶ瀬 康子ほか（編）『福祉文化論』有斐閣ブックス 2008年
- (2) 河東田 博『ノーマライゼーション原理とは何か』現代書館 2009年
- (3) 『共生科学概説』星槎大学出版局 2019年
- (4) 山口 道宏（編著）『無縁介護』現代書館 2012年
- (5) 山口 道宏（編著）『介護漂流』現代書館 2016年
- (6) 早川 和男『居住福祉』岩波新書 1997年
- (7) 杉田聡『「買い物難民」をなくせ!』中公新書ラクレ 2013年

その他適宜紹介する。また関係する資料を配布する。

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。